

人と環境に
やさしい住まいづくり



外断熱・二重通気工法
ソーサキット SCの家

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-7-30
TEL.048-465-1151
<http://www.ko-yo.jp>



株式会社光陽の川端 登社長には、資金的な支援とともに、隔号で「快適な住まいのヒント」を掲載いただきました。家造りで大事にしていることについてお話を伺いました。

◆見た目よりも実用性を重視した家造り

住宅はハードですが、実は使い勝手などのソフトが非常に大事です。例えば、モデルルームなどの真っ白な壁紙は素敵ですが、住んでみると、汚れが目立ったり、黄ばみが気になったり。また近頃は焦げ茶色の床材が流行ですが、意外とほこりがめだち、頻繁に掃除が必要です。毎日の暮らしを快適に過ごすには見た目よりも実用性が大切な場合があります。

当社では、安心と使いやすさが一番と考えた家造りのアドバイスをさせていただいています。

「実際住み始めたら、〇〇が壊れた!」そんな時、ただ技術的に修理するだけではなく、なぜ壊れたのかの説明は欠かせません。それによって安心を得て頂く。お客様の声を大切に。それが当社の目指す「家造り」です。



◆お客様の声を大切に

家はお売りにして終わりではありません。その時から始まるのです。

お客様の声をよく聞くことによって改善していくことができます。

川端さんは、今年五月まで朝霞第五小学校のPTA会長も務められました。これからも地域の子どもたち、大人たちを見守って下さい。(山谷)



シャープ特約店
小泉電機工業株式会社
〒351-0014 埼玉県朝霞市藤折町1-9-29
TEL 048-461-4304(代) FAX 048-466-9777
ホームページ <http://www.koizumidenki.com/>
お問い合わせは担当・奈良まで。お気軽にどうぞ!



小泉電機工業株式会社の小泉博美社長には、資金的な支援とともに「自然遊び」の講師としてご協力いただきました。小泉さんが代表理事をされている「NPO法人まちづくり夢会議」の活動についてお話を伺いました。

◆夢を持てる地域に

人と人をつなげ、一緒に一つのことをすることによって、感動を共有し、一緒に笑い、生きている喜びを分かち合える、そんな地域にしていきたいという思いで活動しています。三月末には、「黒目川花まつり」を共催。たくさんの笑顔を見ることができました。

の感謝の気持ちなどを育んでもらいたいと考えています。

◆子どもたちとの活動

<子ども屋台村>
一昨年から、「あさか学びば支援ネット」のみなさんといっしょに朝霞市民まつり(彩夏祭)の時、「子ども屋台村」を実施しています。青葉台公園内で子どもたちが店長・店員になって販売物の企画からお金の集計までを行い、地域との係わり、お金の大切さや商売の喜び、人へ

<ネイチャーゲーム>

五感を利用して、自然と遊び、自然を学び、自然と時間・人とのつながりを実感してもらうためのゲームです。夏には、小川げんきプラザに一泊して行きます。秋には、朝霞市内の公園で実施する予定です。その他、朝霞第三小学校では、お祭りの時に竹とんぼ作りを指導しています。

小泉さんは、お話されたことをどんどん実行なさいます。まさに「有言実行」。これからもたくさんの感動を共有していきましょう。(山谷)

インターネットで簡単デジタルプリント

L・DSCサイズ 25枚 → 15 円
ネットプリントドットコム
www.net-print-dpe.com



スタジオマイティー
TEL. 048-472-7365
埼玉県朝霞市朝志ヶ丘 1-2-6-101 浜崎団地内



スタジオ・マイティの星子康博社長には、資金的な支援とともに毎号「こども写真館」のモデル撮影やイベントの時の撮影をしていただきました。写真と子育てについてお話を伺いました。

◆「今」を「カタチ」に

プロカメラマンは、自分が「撮りたい」と思って撮っている人が多いかと思いますが、私は「撮ってあげたい」と思っています。それは、子どもたちの「今」を「カタチ」に残しておくことで、その時の感動や嬉しさ、楽しさ、大変さを出つまでも心に残し、それを時々思い出しまた明日からがんばろうって思ってお手伝いがしたい、と思っているからです。

先日、保育園での成長記録をまとめた「フォトビデオ」(写真に音楽やコメントを入れたビデオ・DVD)上映会では、おかあさん・おとうさんが感動で目をうるませていました。撮ってあげてよかったと思う瞬間です。

◆ママプロカメラマン養成

子育て中にも無理なく働けるよう、ママプロカメラマンを養成したいと考えています。家庭保育室などにいって、一時間ほど撮影するという働き方です。もちろん、プロとして働いていただくので、そのための養成講座を開きたいと思っています。これまで、カメラマンとして仕事をしたことがない人でも、意欲とセンスがあればだいじょうぶ。ご関心ある方ご連絡ください。

星子社長とお話していると新しいアイデアがいっぱい。これからもたくさんの子どもの写真を撮ってあげてください。(山谷)